

「支那の問題」日本の支配下にある種地労働者の利益を守るためには、日本の労働運動としてこれを取上げ、アジア労働会議を持ち込む。支那の労働運動は總五会と将介石のアッシヨ的組合との二つあり。その中心が確立されたいので現状ではどうするか。出来ないが、連絡を強化し加盟せしめる様にするべきである。

③ 国際労働会議に関する件

(決定) 全労の国際労働会議に対する方針を組合全議に反対せしめる様努力する。

(経過) 労働代表の人物について——労働代表の選出については、日本の労働階級利害を代表し戦い得る人物を送出する方針をとり、單に各団体間から代表を押し廻りする様な事は改めたいと意見の一致を見、全労労働者は組合全議内に於て種々な事情を考慮し努力すること。

この後、本報より本部に於て国際経済に關して詳細なる説明の希望あり、菊川本部委員より、先づ起つて来る問題に對しては労働階級の建前より反對するべきものは反對し、賛成すべきは賛成して、社会大衆党及び組合全議と協力してその都度これを善悪する。また他の各黨より各界の労働運動を認識し、各労働団体と密接な交渉を遂行し、其の進行が提議を強化したいとの意見ありこれを採擇した。

③ 戦争防止に關する件

(決定) 戦争防止のため社会大衆党と協力して努力する。

(経過) 戦争の危機に對してはどうするか、また戦争が起つた場合どうする等の質問があり、これに對して本部委員より、戦争が起つてからではおれぬ。我々は戦争の危機に對して戦ひ、戦争防止のためには斗争すべきであると答辨、意見として戦争防止の斗争の方法として兵士の家族の生活国家補償等の具體的日當利害に關する問題と取上げて斗争すべきこと、また全労の国際政策を大衆に徹底する様努力されたいとの意見ありこれに全労賛成した。

④ 戦線統一に關する件

(決定) 全労労働内部の地区並に地方の組織の強化を計り、更に日本労働組合全議地方協議会の確立強化の爲めに努力す。日本労働組合全議以外の団体に對しては、これを組合全議に引きつける様努力する。

(経過) 組合全議内部に於ける戦線の統一、差別整理に對して種々質問があつた。その要點は組合全議内に於て最近戦線統一の気運が動きつゝあり、特に(総同盟と全労労働との合同の話が進められつゝあると傳へられぬがどうか) (日本連盟と全労労働との日本運輸水陸関係との差別整理による統一の事が本部にあつたか) (日本連盟と全労労働との日本運輸水陸関係との差別整理による統一の事が本部にあつたか) (日本連盟と全労労働との日本運輸水陸関係との差別整理による統一の事が本部にあつたか) (日本連盟と全労労働との日本運輸水陸関係との差別整理による統一の事が本部にあつたか)